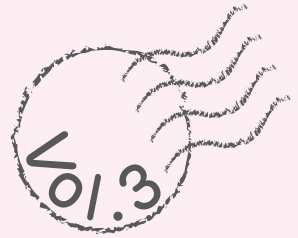


常陸大宮市第1号の青年
海外協力隊員として活動
中の石塚幹子さんから
便りが届きました

コスタリカ から

Hola!

オラ



コスタリカ共和国の言語はスペイン語。Holaは「こんにちは」の意味です。



①オルガノニコ。木の枠で高床式にし、作物が水浸しになるのを防ぎます。この家庭では葉物（レタス、カラシ菜、ハーブ類）を主に育てています



②小学校にて講習会。サクランボに近い果樹を配り、播種方法を伝えて各家にまいてもらいました（大雨で駄目になったという声が多いです…）



③家庭菜園でとれたカボチャ。未熟な状態ですが、こちらではこの状態で調理して食べます。大事にカボチャを抱えています
④セビチェ。隣にはトルティーヤ（トウモロコシ粉をこね、薄く伸ばして焼いたもの）が添えられています

常陸大宮市の皆さん、いかがお過ごしでしょうか。こちら、コスタリカでの活動は早半年が過ぎました。活動の変化としては、私の任地ウバラに新しい協力隊員（村落開発普及員）が厚生省に配属となり、同プロジェクトに参画することとなりました。私は野菜栽培の技術面を、その方は栄養や健康面を担当します。現在の活動は、家庭菜園の地域リーダーを重点的に訪問しています。その家庭をモデルとして、周辺地域の住民にも野菜栽培を広めて行きたいと考えています。現在雨期のため、大雨が降ると水没する土地が多く、畑まで水浸しになることもありまます。雨期の栽培が困難なことがよくわかりました。そのため、このような環境下でも栽培しやすい「オルガノニコ」という方法を進めながら活動中です。これは、高床式の木の箱で野菜栽培をする方法で、私の前任者が促進活動をしていました。

学校菜園の方は、7月に夏休みがあったこと、必要資材がまだ手に入らないこともあり、残念ながら進んでいません。

それでは私の活動状況はこの辺にしてお答えしたいと思います。

Q1 コスタリカで特に気に入った食事はありますか？

A1 「セビチェ」という魚料理が特にお気に入りです。白身魚とタマネギやパプリカ、香菜をライムで漬けたもので、あっさりしていて美味です。

Q2 活動に休日がありますか？

A2 平日は朝8時から午後4時までが活動時間で、土日祝日は休みです。ゆつたりのんびりした職場環境で、残業はありません。

Q3 コスタリカで活動中の11人の隊員の皆さんはばらばらで活動されているのでしょうか？情報交換する機会はありますか？

A3 ほとんどがばらばらの地域、職場で活動しています。3カ月に1回、首都で活動報告会及び会議があり全員が集まります。その際に情報交換をします。若い隊員だけでなく、シニアボランティアも十数名名活動していて、豊かな知識経験をお持ちです。ボランティアの入れ替わりは四半期ごとであり、多少の人数変化があります。

Q4 先日（8月15日）、コスタリカでは母の日だったようですが、どんなことをするのですか？

A4 母の日は年間のビッグイベントの一つで、家族全員で昼食または夕食を食べるのが一般的です。コスタリカでもカーネーションを贈る習慣がありますが、バラの方が好まれます。他にも香水、服、電化製品などを贈ることもあるそうです。

以上ご質問ありがとうございました。こちらの方々も日本にとっても興味を持っていて、様々な質問を受けます。折り紙やアニメが人気で、お好み焼きやカレーも好評でした。両国の友好が更に進むといいなと思っています。